# This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

# IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

#### ⑲ 日本 国特許庁(JP)

① 特許出願公開

## ⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

平4-175065

@公開 平成4年(1992)6月23日

庁内整理番号 識別記号 H 04 N 101 D 9068-5C 1/40 2122-2H 15/01 S G 03 G 8420-5L 9068-5C G 05 F H 04 N 15/68 3 1 0 F 1/40

: 審査請求 未請求 請求項の数 2 (全1頁)

会発明の名称 画像処理装置

②特 顧 平2-300961

**20**出 願 平2(1990)11月8日

**砲発 明 者 笹 沼 信 篤 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内** 

②出 願 人 キャノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

個代 理 人 弁理士 大塚 康徳 外1名

明 粧膏

1. 発明の名称

面像処理装置

- 2. 特許請求の範囲
- (I) 階調を有する濃度信号を処理する画像処理 装置において、

前記濃度信号を入力する入力手段と、

前記入力した濃度信号を領域別に分離する分離 手段と、

前記分離手段で分離した濃度信号の少なくとも 一領域を平滑化する平滑化手段と、

前記平滑化手段で平滑化した濃度信号を出力する出力手段とを備えることを特徴とする画像処理装置。

(2) 前記分離手段は少なくともシヤドー領域とハイライト領域とを分離し、前記平滑化手段は前記シヤドー領域とハイライト領域をそれぞれ平滑化することを特徴とする請求項第1項記載の関係処理装置。

#### 3. 発明の詳細な説明

#### 【産業上の利用分野】

本発明は、カラー画像処理を用いて、階調画像を出力する単色画像再現方法およびカラー画像再現方法を有する画像処理装置に関するものである。

#### [従来の技術]

従来、この種の装置においては、デジタル式電子写真方式の単色階調を画像処理する装置があった。

この装置を示す第7回を用いて、再現過程を説明する。

第7 図において、面像の輝度信号がCCD21で待られる。待られた輝度信号は個々のCCDD常子の感度パラツキを修正するシェーデイング回路22を通る。修正された輝度信号を過度信号にの変換するために、LOG変換器23を通す。得られた速度信号は、電子写真方式の現像特性の影響による階質変換を補正するため、LUT24に変数された後、パルス巾変換器25により信号をド

#### 特閒平4-175065(2)

ット巾に対応した信号に変換され、レーザドライバ 2.6 に送られる。

以上のデジタル信号処理をもつてレーザ走査により感光体(関示せず)上にはドットの面積変化による階調特性を有した潜像が形成され、現像、 低写、定着という過程をへて、階調画像が得られてきた。

フルオラー階側画像の再現の場合は、さらに色分解、下色除去、マスキング等の過程が入り、複数の色信号を並列処理を行なうが、各色の階詞再現の方法は、先に説明した単色の場合と同じであ

[発明が解決しようとしている展題]

しかしながら、上記従来例では、CCD21の 調度分離レベルによる制限により、輝度信号は8 ビット、すなわち、256帯調で入力されるのが 通常である。

輝度信号を譲渡10G変換した変換図を第8図に示す。同図により、蝉度の高いところ、すなわち論度の低いところにおいては、輝度の差があつ

この現象は、滑らかなハイライト階調を著しく 悪化してしまい、カラーコピーの場合は淡い色あ いが再現できないという欠点をもつている。

これらの欠点はコピー画像を原稿として利用するジェネレーションコピーにより何世代もくり返しコピーがなされた時には、シヤドー部とハイライト部の浪皮情報が著しく減少してしまい、総合的な面質労化の大きな原因となる。

本発明は、上述した従来例の欠点に鑑みてなされたものでり、その目的とするところは、シャドー部とハイライト部の各々の階調性を受似的に補正することができ、良好な階調画像が得られる画像処理装置を提供する点にある。

[無悪を解決するための手段]

上述した無限を解決し、目的を連成するため、本発明に係る耐像処理装置は、階調を有する濃度信号を処理する動像処理装置において、前記進度信号を入力する入力手段と、前記入力した過度信号を領域別に分離する分離手段と、前記分離手段で分離した過度信号の少なくとも一領域を平滑化

ても徹度レベルでは同一値になつているところが ある。

一方、輝度の低いところ、すなわち濃度の高い ところにおいては、輝度のレベルが1つちがうと 、濃度レベルが設便飛んでしまうという現象が起 こつている。

上記説明を第8國を用いて補足説明する。

第8図において、横軸に実際の原稿適度、横軸にCCD入力による起動信号から換算した濃度レベルを示している。濃度が高くなるにつれ、濃度レベルの判別能力が悪くなつている状態が示されている。このように、輝度2.5.6 レベルであつた 信号も1.0 G変換し、濃度換算すると、実質的約5.0 %もデータが消失することになる。

この現象により、油度の高いシャドー部の階調 再現性が正確に行なえないという欠点をもつている。

ハイライト部においては、カブリを生じさせな ために、濃度 0 . 1以下の再生濃度が消失しやす い傾向がある。

する平滑化手段と、前記平滑化手段で平滑化した 濃度信号を出力する出力手段とを備えることを特 数とする。

[作用]

かかる複成によれば、入力手段は適度信号を入力し、分離手段は入力した油度信号を領域別に分配し、平滑化手段は分離手段で分離した濃度信号の少なくとも一部域を平滑化し、出力手段は平滑化手段で平滑化した温度信号を出力する。

[実施例]

以下に、添付図面を参照して、本発明の好選な 実施例を詳細に説明する。

第1回は本発明に係る側像処理装置をデジタル式電子写真視写機に適用した一実施例を示すプロック回である。同図において、1はCCD、2はシエーディング回路、3はLOG変換器、4は適度域分離回路、5は平滑化フィルタ、6はLUT、1はパルス市変調回路、8はLDドライバをそれぞれ示している。

以下に、上記構成によるデータの流れを説明す

ろ・

第2図は本実施例による濃度の傾きを有した画像の濃度レベルを説明する図、第3図は一般的なな濃度レベルのヒストグラムを説明する図そして男4図は本実施例による濃度レベルのヒストグラムを説明する図である。

画像は C C D 1 によって輝度信号に変換され、C C D 案子の感度パラッキを補正するシエーディング回路 2 を通る。輝度信号は L O G 変換器 3 により、濃度信号に変換される。本実施例では濃度2.0 が濃度レベル 2 5 5 に対応させている。

濃度域分離回路4において、濃度信号は濃度 1.3以上をシヤドー部として分離される。シヤドー部においては、第2回の敬録のように滑らかな階質をもつ原稿から、この時点で第2回の英級のように断続的な濃度信号に変換されている。

・得られた濃度信号から、原稿の滑らかな濃度階調を補正するために、平滑化5を行なつた。

平滑化処理は、本実施例ではW ≃ 1 / 4 [ 1 , 2 , 1 ] という平滑化フイルタを使用した。

る。高濃度レベルにおいては、ヒストグラムがと びとびのレベルしか得られていないことが示され ている。

第3回の様なヒストグラムの画像は階調の滑ら かさという点で劣つている。

一方、本実施例を適用した場合の適度ヒストグラムによれば(第4回)、平滑化処理により高値度域のヒストグラムの分布が広がり、再生画像が階調費かな状態である。

以上説明したように、本実施例によれば、特性の濃度域につき、画像信号の平滑化を行うことにより、デジタル処理特有の数値量子化によつて生じたデータのかたよりを減少させ、滑らかな時期再現を行なう効果がある。

さて、上述した実施例では、平滑化処理をシャドー部に対してのみ実施していたが、本発明はこれに限定されるものではなく、シャドー部に加えてハイライト部に対しても平滑化処理を実施しても良い。

第5回は本発明に低る画像処理装置をデジタル

計算方法は次式の通りである。

 $g(x) = \sum_{i=1}^{n} W(i) f(x-i)$ 

f (x)は入力画素濃度、g (x)は出力画素 濃度である。

平滑化の手法として、他にヒストグラムを利用したものや、様々な平滑化フィルタの提案がなされており、例えば「強調と平滑化処理」(中村譲越氏、0 plus E, No. 75, p83(1986))がある。従って、目的に応じた最適な平滑化処理を使用する。

適度信号については、シャドー部が平滑化処理 され、シャドー部以外が処理を行なわず現像特性 の補正を行なうためにLUT6に直接出力される。

譲度信号は、パルス巾変調回路でで譲度に対応 したパルス巾に変換され、レーザドライバ8に送 られる。

本実施例を適用しなかつた場合、即ち、一般的な濃度ヒストグラムによれば(第3回)、濃度レベルはLUT6での処理後の濃度信号が使用され

式電子写真被写機に適用した他の実施例を示すプロック図である。同図において、CCD81、シェーディング回路82、LOG変換器83、濃度域分離回路84、平滑化フィルタ85、LUT87、パルス中変翻器88、LDドライバ89は、それおれ第1図のCCD1、シェーディング回路2、LOG変換器3、濃度域分離回路4、平滑化フィルタ5、LUT6、パルス中変調器7、LDドライバ8と同様の構成及び復能を有している。86はハイライト部に対応した平滑化フィルタを示している。

ハイライト部はカブリを避けるために、現像時の印加電圧に関値を設定し、ある設定濃度以下の現像が不可能になつている。この実施例では、濃度値の、2(濃度レベル15)以下という条件で、分離し、平滑化フィルタ86で平滑化が行われる。シャドー部においても、濃度値1、3(濃度レベル102)以上という条件で分離し、平滑化フィルタ85で平滑化が行われる。

### **特開平4-175065 (4)**

平滑処理は、前述の実施例と同じ平滑化フィルタが使用される。

ここで平滑化の一例を説明する。

第6図は他の実施例による走査過度変動を説明 する図である。この第6図には、電子写真学会チャート版、5女性ポートレート像の白服ひだ部の 再生画像の走査過度変動が示されている。

選度選定は、約100μm×約100μmの開口のマイクロデンシトメーターにで行われている。 実線が従来の画像処理による濃度変動であり、濃度0.08から濃度0.14へ変動が急激であり、白服のひだの質感が損なわれている。

また、破縁は本実施供による面像処理による漁 度変動を示している。この平清化処理により、漁 度変動がゆるやかになり、白服のひだの滑らかさ が再現されており、原稿に忠実な再現となつでお り、効果が認められる。

このように、シャドー部とハイライト部とを像 域分離し、その領域につき平滑化処理を行なうこ とにより、シャドー部とハイライト部の各階調性 を疑似的に補正することができ、これにより良好 な難関画像が得られる。

以上、2つの実施例にかかる方法を実現する装置として、電子写真を例に説明したが、本発明はインクジェットブリンタ、銀塩写真方式プリンタ、或いはサーマル転写プリンタ等、他の方式の画像処理装置にも適用できることはいうまでもない

#### [発明の効果]

以上説明したように、本発明によれば、デジタル処理特有の数値量子化によつて生じたデータのかたよりを減少させ、滑らかな階間再現を行なう効果がある。

#### 4. 図面の商単な説明

第1図は本発明に係る画像処理装置をデジタル 式電子写真複写機に適用した一実施例を示すプロック図、

第2回は本実施例による譲度の傾きを有した画像の濃度レベルを説明する図、

第3回は一般的なな濃度レベルのヒストグラム

を説明する図、

第4図は本実施例による濃度レベルのヒストグ ラムを説明する図、

第5回は本見明に係る函律処理装置をデジタル 式電子写真指写機に適用した他の実施例を示すプロック図。

第6団は他の実施例による走査濃度変励を説明

第7個は従来の複写機の一例を示すプロック 図、

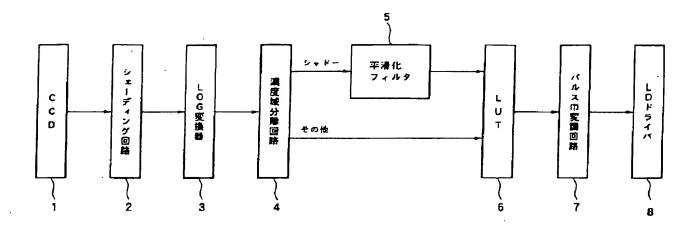
第8回はCCD入力輝度レベルとLOG変換後の機度レベルとの関係を説明する図、

第9回は原稿の濃度レベルとLOG変換後の濃度レベルとの関係を説明する図である。

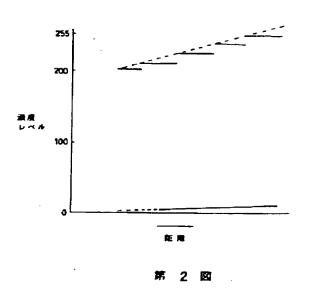
図中、1,21,81…CCD、2,22.82…シェーデイング回路、3,23、83…LOG変換器、4,84…濃度域分離回路、5,85、86…平滑化フイルタ、6,24、87…LUT、7,88…パルス巾変調回路、8,26、89…LDドライバ、25…パルス巾変換器であ

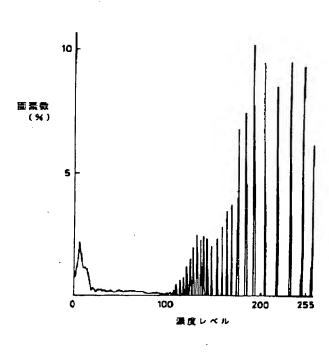
8.

特 許 出 順 人 ・キャ ノ ン 株 式 会 社 (結大) 代理人 弁理士 大 塚 康 徳 (他 1 名) 記録 (記述)

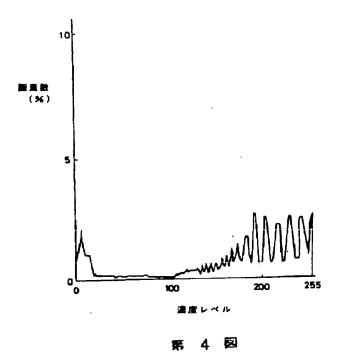


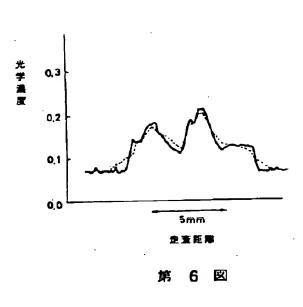
第 1 図

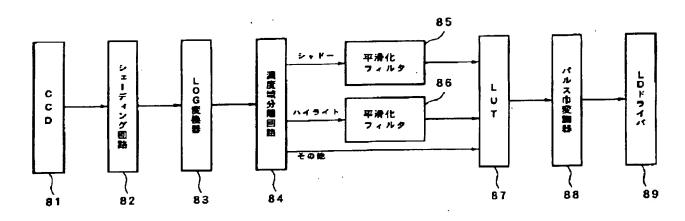




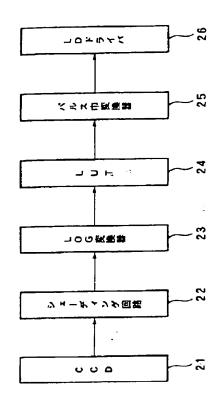
第3図

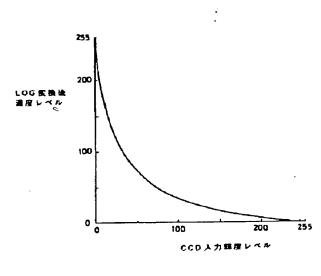




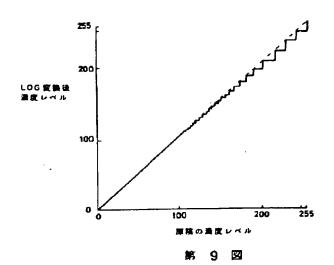


第 5 図





第8図



X